



◆◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 146 号 2024/5/1 発行）

◆◆◆ Institute for International Monetary Affairs e-Newsletter

◆◆ (No. 146, May 1, 2024)



＼1. 理事長 渡辺博史 コラム／

「全体を見る能力の欠缺」

<https://www.iima.or.jp/docs/merumaga/2024/20240501watanabe.pdf>

相変わらず円安が続いているが、2022年に急激な円安が進行した当初は、その理由についての論調は「日米金利差」一辺倒だった。...

＼2. 大阪市立大学名誉教授・経済学博士 山下英次 コラム／

「横浜正金銀行の創設：福澤諭吉と大隈重信」

<https://www.iima.or.jp/docs/merumaga/2024/20240501yamashita.pdf>

旧東京銀行の前身である横浜正金銀行（YSB）は、1880年（明治13年）に創設されたが、そこには、福澤諭吉と大隈重信の二人が...

■ 最近の調査研究レポート

1. 「今回の円安を大局的にどう考えるべきか？ ～インフレ・競争力低下・変動相場制から考える大幅な円安の評価～」 橋本将司

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2024/nl2024.16.pdf>

2. 「デリスキングを目指す EU の対中国貿易」 篠原令子

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.13.pdf>

3. 「アジア諸国の QR コード決済連携の動向」 宮川真一

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2024/nl2024.15.pdf>

4. 「足元のドル高・円安は購買力平価と金利差で説明できるか」 岩岡聰樹

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.12.pdf>

5. 「円安と日本経済悲観論」 森川央

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.11.pdf>

6. 「大統領選後の米国分裂リスク — 金井光大朗教授の指摘」  
絹川直良

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.10.pdf>

7. 「不況に陥る 2023 年の中国経済 ～2024 年の改善は可能か～」  
梅原直樹

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2024/nl2024.13.pdf>

8. 「2023 年上半期の中国の経済状況と 2024 年に向けた  
政策対応への期待と不安」 梅原直樹

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2024/nl2024.12.pdf>

9. 「宣伝部門や国家安全部門も動員して不況色の払拭に取り組む中国  
～言論統制が経済をさらに悪化させるリスクはないか?～」  
梅原直樹

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2024/nl2024.14.pdf>

10. 「広がりを見せるアジア諸国の越境 QR コード決済」 宮川真一

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.9.pdf>

11. 「途上国の公的債務問題 ～急がれる貸し手の多様化への対応～」  
篠原令子

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.8.pdf>

12. 「決済システムの相互接続に関する取り組みの現状」  
潮田玲子

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.7.pdf>

■ IIMA-GMVI・購買力平価

<https://www.iima.or.jp/research/ppp.html>

《掲載内容》

- IIMA-GMVI (Global Market Volatility Index)  
(グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数)
- 購買力平価 (PPP)  
(ドル円) (ユーロドル) (ユーロ円)

■ 今月の IIMA

---

新緑と青空のコントラストが美しい季節となりました。

IIMA では今年度、以下の重点テーマをもとに、調査研究活動や情報交流活動を実施しております。

- (1) マクロ経済・金融・通貨の動向
- (2) アジアを中心とするエマージングマーケット
- (3) 複雑化する中長期課題への対応

(3)の中長期の課題への対応では、前年度個別に掲げた重点テーマである DX と GX のインパクトは、地政学的対立の影響をより受け易くなっているほか、相互に関連する動きも増えているため、1つに集約し、より多面的な研究を行うこととしております。

活動結果につきましては、HP 上のレポートやウェビナーにて報告して参ります。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

---

【バックナンバー】

<https://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

【次号】

2024 年 6 月 3 日配信予定

【各種お問い合わせ】

[admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→ <http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

---

◆発行◆

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8階

[HP (日本語)] <https://www.iima.or.jp>

[HP (English)] <https://www.iima.or.jp/en/>

Copyright(C) IIMA All Rights Reserved.